

弓中だより

(地域版)



田川市立弓削田中学校
令和2年3月25日(水)
学校だより No. 12

文責 松内 隆泰

校訓 **自治** ・ **親愛** ・ **勤労**

自分の道を歩んでいこう

コロナウイルスの流行に伴い、本校も感染予防のための臨時休校となりました。このように期間の長い臨時休校は学校にとっても初めてのことでありますが、職員一同、今出来る最も適切な対応に努めているところです。

さて、3年生の皆さんの卒業に際して、高村光太郎さんの「道程」(どうてい)という詩を贈ります。「道程」はもともと102行ある非常に長い詩で、以前の教科書に載っていたのは、詩集『道程』掲載時に再編集された最後の一節(9行)です。最初の一節と最後の一節を含んだ二節を以下に紹介します。

どこかに通じている大道(だいどう)を僕は歩いているのじゃない
僕の前に道はない 僕の後ろに道は出来る
道は僕のふみしだいて来た足あとだ
だから 道の最端にいつでも僕は立っている

— (中略) —

ああ 人類の道程は遠い そしてその大道はない
自然の子供等が 全身の力で拓(ひら)いて行かねばならないのだ
歩け、歩け どんなものが出てきても 乗り越して歩け
この光り輝やく風景の中に 踏み込んでゆけ

僕の前に道はない 僕の後ろに道は出来る
ああ、父よ 僕を一人立ちさせた父よ
僕から目を離さないで守る事をせよ 常に父の気魄を僕に充たせよ
この遠い道程のため (この遠い道程のため)



「高村光太郎全集 第十九巻」 筑摩書房 より

人が生きていくことは、よく「道」に例えられます。この詩もそうですが、こうすればよいという道(大道)は時代や状況とともに変わります。であるならば、自分が進むべき道は自分で決め自分らしく生きていこうと、この詩は語っていると思います。

まさに今回の状況もそうですが、皆さんが歩いていく道の先にも、これから多くの選択や困難があることでしょう。何を目的として生きるにせよ、道は一つではありません。また、進みたい方向に道がないなら、自ら切り開いて進むこともあるかもしれません。悩むこともあるでしょうが、最後は、自分の進む道は自分の責任において自分で決める。今後も変化し続ける社会や状況の中で、皆さんがそのような生き方をしてくれることを期待します。

卒業証書授与式が挙行されました

3月12日（木）に、第73回卒業証書授与式が行われ、71名の卒業生が本校を巣立っていきました。本年度の卒業式は新型コロナウイルスの影響で、30分という時間短縮、在校生の不参加、参加していただく保護者の人数制限（各家庭2名）、参加者全員のマスク着用と、例年にない形で行われました。このような状況での卒業式でしたが、卒業生はきちんとした態度で参加し、思いを込めた言葉や歌は式場にいた多くの人を感動させ、厳粛な中にもすばらしい卒業式となりました。



ひとつの区切りを迎え、それぞれが新たなステージへと進みます。また来年、生徒と共にそのような笑顔と涙の中にいられるように、我々職員も、生徒、保護者、地域の方々と共に精一杯取り組んでいきたいと思っております。

感染予防へのご理解・ご協力をお願いいたします

新型コロナウイルスの感染予防のため、3月3日（火）から3月23日（月）まで、本校は臨時休校となりました。卒業式と修了式こそ出校しましたが、そのまま春休みに入ります。春休み中の出校はありません。

春休みではありますが、感染予防の必要性は継続していますので、不用・不急な外出は避け（※全面的な外出禁止の指示ではありません）、多人数で集まったり、人が多く集まるような場所には行かない等の配慮が必要です。ご家庭や地域でも声かけやご指導をよろしくお願いいたします。

保護者・地域の皆様へ

早いもので、入学、進級してからの一年がまもなく終わります。お子様を見守る中で、一つ一つのことにより一喜一憂されたのではないのでしょうか。学校も様々な取組をしてきましたが、保護者や地域の方々のご期待に応えきれなかった点多々あったことと思います。我々教職員も、この1年の反省をきちんと行い、次の1年ではさらに充実した取組を行う所存です。

この1年の保護者や地域の方々のご理解とご協力に感謝するとともに、今後も学校と家庭、地域が連携し、ともにお子様を支え導いていけるようご協力をお願いいたします。1年間ありがとうございました。

4月の予定

※3月18日現在の予定です。変更になる場合があります。

○ 3月25日（水）～4月5日（日） 春休み

4月	6日（月）	始業式
	9日（木）	入学式
	22日（水）	家庭訪問【～28日（火）】
	25日（土）	授業参観、PTA総会、部活動保護者会